

# ハーモニ



## (第4号)

発行：下田市役所企画財政課 編集協力：男女共同参画社会の実現を目指す市民懇話会  
電話 22 - 2212 FAX22 - 3910 メール kikaku@city.shimoda.shizuoka.jp

### ばっちり

「託児サービス」で、おかあさんの「自分育て」をサポート！

「子育ての勉強会、自己啓発のための講座、映画やコンサート。行ってみたいけど、でも子どもが小さいから、なかなか預けてなんていうのは難しいのよね。」こんな声がか子育て中のお母さんからよく聞かれます。冠婚葬祭などの社会的理由では保育所の一時預り制度も利用できますが、個人的な理由や時間外などの対応は、なかなか難しいのが現状です。

こうしたお母さんが、子育てをしながらも「自分育て」ができる環境をつくっていくことは、男女共同参画社会の実現に向けた大切な視点です。

こうした中、9月2日に開催された市福祉事務所主催の育児講演会で「託児サービス」が実施され約60人の出席者中、10人の皆さんが託児サービスを利用しました。講演会は熱心なお母さんたちで大盛況、託児ルームは元気な子ども達で大賑わい、スタッフは悪戦苦闘、の2時間でした。

今回のスタッフは、社会福祉協議会を通じて依頼された下田子育て応援隊「ぼっぼ」が担当しました。「ぼっぼ」は託児ボランティア養成講座第1回修了生を中心にできあがったグループです。すでにいくつかの講演会やイベントなどで託児を受け持っています。



このようなサービスは、「設置され」、「利用される」ことで次につながっていきます。「下田市ではどの講演会にも託児サービスが設置されているよ。」という状況につなげるための1日になったように思います。

**みなさんの講座やイベントでも託児サービスを行ってみませんか？**

託児ボランティアの派遣、託児サービスに関する相談などは、

**社会福祉法人下田市社会福祉協議会 電話 22 - 3294 へどうぞ！**

今回の託児サービスを利用された皆様、担当したスタッフの声をお届けします！

大事なお子さんを短時間とはいえ、お預かりすることは本当に神経を使います。お母さんを求めて泣かれると慌てます。でも、信頼して寄り添ってくる姿は、とても愛しく思えます。私自身も元気をもらい、やさしい気持ちを思い出させてもらいました。

(スタッフ)



保育園で対応できない日(土日・祝祭日)の託児を充実させてもらえると助かります！

興味あるイベントや講演会などが行われるたびに、どうせ参加できないとあきらめてました。子どもを知人に預けるのも気兼ねしてしまうし。今回は託児があることを知り、お願いしました。すぐ隣が託児スペースで、安心して預けることができ、ゆっくりと講演を聞くことができました。(お母さん)

おじいちゃんのようなスタッフにまわりつく子、お父さんのようなスタッフとたくましく遊ぶ子、女性のスタッフに抱かれて眠る子。いろいろなふれあいや出会いができた2時間でよかったなと思いました。(スタッフ)



預けるときには、初めてのことで多少不安そうに見えましたが、講演が終わり迎えに行くと、「にこにこ」していて、帰りにはスタッフの皆さんに「ばいば~い」と楽しそうに手を振ってました。たくさん遊んで、楽しい時間が過ごせたようです。(お母さん)

こんなささやかなボランティアでも、お母さんが自分を育てる時間を持つためのお手伝いになっていることを実感します。この事業がもっと広がっていくといいなと思います。(スタッフ)

みんな  
また一緒に遊ぼうね！  
(スタッフ一同)



## おじゃまします！「南伊豆町子育てサークル」見学記

「南伊豆町にとっても楽しい子育てサークルがあるよ。」ということで、男女懇話会のメンバー、下田子育て応援隊「ぼっぼ」の皆さんなど、子育てに関心を持つ方で見学にいらっしゃいました。

午前 10 時過ぎ、会場の南伊豆町の広々とした中央公民館 1 階ホールにはもうたくさんの親子が集って楽しく遊び始めていました。

生後 6 カ月以上 4 歳未満の保育園等に通っていない子どもと親が対象ということで、本当に小さい子ども達が目を輝かせておもちゃで遊んでいました。親の方は、そんな子ども達を見ながらいくつかのグループになって、隣のおかあさんと楽しそうにおしゃべりしています。その自然な親子の交流がとても心地良くほのぼのとしたものを感じました。



### 参加されていた方の感想

- ・公園にいてもいつも誰もいないし、よその家から子どもも出てこないの、ここへ来るのが楽しみ。
- ・私は祖母ですが、家にいても子どもが独りぼっちです。ここへは 2 時間、私も楽しみにきます。
- ・子ども同士のふれあいが少ないので、はじめはここにきて泣いてばかりでなかなか親離れができないで困りました。でもここでの交流が良かったのか、幼稚園にあがるときはお友達にすぐ慣れました。



スタッフは、保健師さんと育児支援サポーター（ボランティア）3 名で、合間には手遊びや紙芝居等もやっていました。

### 担当の保健師さんのお話

- ・南伊豆町では、年間出生数が 60 人未満と少子化が進んでおり、家も点在していて小さな子ども同士のふれあいの機会が少なくなっています。
- ・よそからの転入者も多く、おかあさんも孤立していて交流がなく、子育てに不安感を持っています。親が安定すれば子どもは安定します。ここは、おかあさん達の間として重視しています。
- ・平成 9 年から開催し、初めは月 2 回程度でしたが、今は月 4 回開いています。現在は 5,60 組の親子が参加しています。
- ・母親同士が自分たちで運営する「自主グループ」発足のきっかけづくりにしていきたいです。

現在下田市で開催中の、下田市社会福祉協議会主催の「第 2 回子育てボランティア養成講座」受講生も含め、15 人の方に参加していただき、これからの下田の子育て支援のあり方について、ともに考え、話し合う良い機会になりました。 = 南伊豆町の皆さん、ありがとうございました。 =

## 「静岡県男女共同参画タウンミーティング」が開催されました

8月24日、下田総合庁舎で静岡県主催の「男女共同参画タウンミーティング」が開催されました。静岡県は、平成15年に「静岡県男女共同参画基本計画」を策定。その中間年である今年、計画を見直すことになり、広く関係者の意見を聞くために、5箇所でタウンミーティングを開催したものです。伊豆地区では、下田市・伊東市・西伊豆町・松崎町などから、日頃より各地域で男女共同参画に取り組んでいる方が参加し、活発な意見交換が行われました。

### 参加された皆さんのご意見（抜粋）

- ・基本計画は策定されたが、そこからの具体的な取組はなかなか難しい。
- ・小学生の議会見学で、「男の人ばかりでびっくりした。」という感想があった。今の小学生が社会を担うときには、女性議員の活躍する社会でありたいと思う。
- ・男女共同参画意識は、家庭で「父親・母親の関係」を見て育つ中で形成されると思うが、そこにまだ固定的な性別役割分担意識が根強いのではないか。



### <講師の犬塚先生からアドバイス>

- ・意識改革は成果が見えにくい、地道な取組を！
- ・学校向けに副読本を配布。これからの成果に期待。
- ・現在は、仕事と家庭の両立を支援することが一番重要
- ・企業等のトップの意識啓発や就業環境を見直すことが必要

静岡県計画の基本目標は、**誰もがいきいきと活躍できる男女共同参画社会の実現**です。

今回の会議で、少子化、高齢化、就業、介護、まちづくりなどの課題を解決していくためには、男女共同参画の視点がますます重要になってくるということを再認識しました。

## 「遊・VIVA！」スペシャル in 稲梓小学校 開催！！

一日児童館体験イベント「遊・VIVA！」が稲梓地区に初登場！みんな来てね！

- ・いつ 平成18年11月11日（土）午前10時～午後3時
- ・どこで 稲梓小学校（教室、体育館、運動場など）
- ・入場料 100円（保険料、材料費）
- ・持ち物 上履き、手提げ袋
- ・遊び おなじみの「手作りコーナー、バームクーヘン、汗かきコーナー」  
稲梓地区老人クラブふれあいコーナー「お手玉、布ぞうり、竹細工」



「乳幼児一時預かり」を実施します。ご利用ください。

問い合わせ 下田市福祉事務所 22-2216、遊・VIVA! 直通 090-9908-4779

男女共同参画情報紙「ハーモニー」は、下田市役所ホームページでもご覧いただけます。

アドレス <http://www.city.shimoda.shizuoka.jp/> 下田市役所(Top 行政 男女共同参画)